

今年は年が明けても暖冬続きで、厚めのコートを着てる人を
余り見かけません。このまま大きな寒波もなしに春を迎えて
しまうのでしょうか？ 少し心配です。今回はそんな春を前に
見直しておきたい事柄をまとめてみました。少しでも参考にな
れば幸いです。 上田サークル会 会長 上田 良堂



社 長	専 務	部 長		

今回は工場内の見直し点検とリサイクルについて考えてみました。

工場内環境

- ①昨年「セレウス菌」による感染事故が問題になり、結果的には病院側の落ち度が認められましたが、一旦このような問題が起きると弱い立場にあるのも事実です。対策として、キレート剤・アルカリ等やマルチクリン9（恵比須薬品）を利用して1～2ヶ月に一回機械内洗浄を行うのがベストです。又その際、投入口や投入カップのこびり付いた汚れも除去しましょう。
- ②溶剤管理をまめにしましょう！
酸化値・ソープ濃度・水分量・透過率等を管理する事でソープ本来の機能がより効果的になり、仕上げ性向上にも繋がります。
日頃の測量データをご希望の方は弊社社員までお申し付け下さいませ。
- ③分からないところで蒸気漏れ等が起きていると燃料の無駄使いになります。トラップを交換するだけでも燃料費が20%も削減できた例もあるようです。
今一度点検をお勧め致します。
- ④その他、少しの改善で生産性の向上や働きやすい職場環境が作り出せる事もありますので、従業員の方から改善案を募集して採用になれば報奨金と言った制度を活用するのも1つの方法だと思えます。



リサイクル

- ①ハンガーは従来の針金からプラスチックに移行されておられる業者様も多くなってきておりますが、回収率がなかなか上回ってこないのが現状のようです。種類の違うハンガーを持って来られて振り分けが面倒臭い。洗浄するのが面倒だ。等々の理由があるみたいですが、再利用率20%と40%とでは大きなコスト削減に繋がるのも事実です。
メーカー別や種類別の回収ラック等を利用してみてはどうでしょうか？ 又、ハンガー専用の洗浄ネットも販売されていますのでご活用下さいませ。
- ②ポリ製品は、特定のスーパーがレジ袋の有料化を始めておられます。全体としてはまだ少数ですが、いずれ各地で根付く事になりそうです。
クリーニング業界も環境省からの通達如何ではお持ち帰り袋の有料化や包装袋の自主回収が義務付けられるかもしれません。
リサイクルバックの活用や、多点1包装等の試みも今から行ってみてはどうでしょうか？



クリーニング業界を取り巻く環境は今後益々厳しいものになってくるものと思われれます。慢性化する人手不足の問題や原油高騰によるコスト増、又、埼玉県では溶剤回収の義務が条例で決まったりと経営を圧迫する材料ばかりですが、避けては通れない問題であるのも事実です。国内ジーンズの生産量日本一を誇る岡山県の業者さんの話では、今年は売れ行きが余り良くないようです。業者さん曰く、テレビドラマの「華麗なる一族」でのキムタクのスーツ姿が原因ではないかとの事。今年はカジュアルからピシッと決まったスーツに流れが変わるといいのですが…